

倉敷芸術科学大学

2026年度 一般選抜【中期】

1. 試験開始の合図があるまで、問題・解答用紙を開いてはいけません。
2. 学科別の出題科目、選択方法は下表のとおりです。

学 科 名	出題科目	選 択 方 法
芸術学部 ・芸術学科 生命科学部 ・健康科学科	国 語 化 学 生 物	3科目から1科目選択して解答してください。
生命科学部 ・環境生命科学科 ・生命医科学科 ・動物生命科学科	化 学 生 物	2科目から1科目選択して解答してください。

3. 問題・解答用紙は、下表のとおりです。試験中に印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

出 題 科 目	問 題 用 紙 通 し 番 号	解 答 用 紙 通 し 番 号	備 考
国 語	1 - 4	5	問 題 用 紙 は 裏 面 ・ 次 頁 に つ づ く
化 学	6	7	
生 物	8 - 9	10	問 題 用 紙 は 裏 面 に つ づ く

4. 解答用紙は1枚のみ回収します。この冊子の中から選択した科目の解答用紙1枚を切り取り、使用してください。ただし、生命科学部（環境生命科学科、生命医科学科、動物生命科学科）は、国語を選択した場合は無効になります。
5. 試験開始の合図があったら、解答用紙に受験地、受験番号を記入して、解答を始めてください。
6. 試験終了の合図と同時に解答をやめてください。

二〇二六年度 倉敷芸術科学大学 一般選抜

中期

〔国語〕

一、次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

最近、裁判で科学者が証人として呼ばれるような事例がずいぶんあります。私たちが身近に知っているものとしては、GMO（遺伝子組み換え作物）、BSEと食肉（牛肉輸入の問題）などです。このような科学や技術の専門的問題が^aカランでいる場合に、科学者が証人として法廷に（A）があります。

私などは法律には素人なので、最近発見して（B）があります。それは、裁判の法廷は「必ずしも真実をみつける場ではない」ということ。では法廷とはどういう場かというところ、当たり前といってしまうかもしれませんが、訴えた方と訴えられた方が、お互いに人智を尽くして勝ち負けを争う戦場なのです。科学者は、弁護側の証人として呼ばれることも、検察側の証人として呼ばれることもあり、時にそれが（C）もあります。（中略）

一般的に科学者は、トウカイ^b領域の専門家の立場からすると、言えるのはその領域における「科学的合理性」で、黒を成り立たせる条件、白を成り立たせる条件、少なくとも自分の知識のなかにある限りのすべてが満たされるときにはじめて黒か白が言えるわけです。問われている事例が非常に限定された場合でないかぎり、科学者としてはそれらのすべてが満たされているかどうかに関してはわからない、あるいはそれはまだ突き止められていない、というように判断するケースが極めて多くなります。条件がすべて満たされたときには特定の結果が確実に生ずるであろうけれど、その条件がすべて満たされていないときには、一〇〇パーセント確実な断言はできません。ある結果でありうるだろう、という可能性は言えるかもしれませんが。それが、科学者がとるべきただししい判断であって、司法の場のように（D）とはちがう、ということが、あまり理解されていません。

ところが裁判官は、科学の専門家では通常はありませんから、非専門家の立場に立っている。しかも非専門家の立場から科学者に要求するのは、科学の立場からの黒か白かです。そんなものがないにもかかわらず、です。裁判という場が、もっとも極限的に勝負を迫る場であるからだと思いますが。

裁判では訴える側にしても訴えられる側にしても、そういう留保をとまなう表現は不可なのです。要するに自分に有利な証言を結論として導き出したい。あるいは、反対尋問をしているときは相手に対して不利な結論を導き出したい。

たとえば、尋問者が有利な結論を導き出したい立場だとすると、「このようなケースがある。科学者としてあなたはこの結果が黒か白かを証言してください」と言われる。科学者がア^cフ^cて「いや黒だとすればこれこれしかじかな条件が整ったときで、全部整えば一〇〇パーセント黒といえるかもしれないけれど、その条件が欠けていた場合には……」と言いかけると、「いや、そういうことは訊ねていません。質問にだけ答えてください」というふうに切り捨てられる。翌日また引き出されて、「昨日あなたはこれこれであれば黒だ、だからこれは黒だと言いましたね」と念押しされる。科学者が「待ってください。私は、黒なのは全部の条件が整ったときだけに限るといったはずです」と言うと、「あなたは証言を翻すのですか」と非難される。

結局、科学者にとって法廷の場というのは、フラストレ^dーションのたまる場所以外のなものでもない、ということがあまりにも多すぎるようです。

遺伝子組み換え作物（GMO）に関しても、法廷の場で争うことがあります。たとえば北海道でGMOを育てる実験農場を作るというときに、それに対して住民や農家が差し止めの裁判を起こすという事例がありました。

ほとんどの科学者は、少なくともアメリカなどで流通している遺伝子組み換えの作物を食べて身体に異常を生じることは一〇〇パーセントありえない、と理解しているはずで、GMOを体内に摂取するとき、私たちの身体は、身体成分として正常なものに置き換えてからでないと摂取しないメカニズムが働いていますから。毒物などはもちろん別ですが、フツゴウ^dな遺伝子配列が仮にあったとして、それを取り込むメカニズムはないのです。そこまでは科学的合理性として発言できる。たぶんGMOの裁判などでは、ほぼ一〇〇パーセントそのように判断していると思います。

いま判断を下しかねる一番の疑問点は、次のような問題です。たとえば、GMOの圃場^{ほじょう}でメイガの虫害にとっても強い遺伝子組み換え稲を育てる。そうすると当然メイガは食べ物を失って絶滅し、メイガを食べていたほかの昆虫や鳥にとっても食料が少なくなってしまう。そういう稲を広範にわたって育てることで生態系にいかなる影響が及ぶか、ということに関してはまだだれも確実なことはわからない。これが、実はGMOの圃場を作るときに科学者がア^eヤ^eぶ^e最大の問題なのです。

ところが、²実際の法廷での争点はそういうことではなく、農業を使わないで虫害を防ぐと言うことになれば、政府などはGMOを推し進めたい。でも、裁判になるということはそれに対抗する力、差し止めたい人たちが一方にいることです。それは農業に従事する住民の場合もあり、消費者団体の場合もある。つまり問題は科学的合理性の範囲をはみ出して、「X」とでも言うべき領域で判断しなければならない。とすれば意志決定に参加すべき人々は、科学者だけでなく、消費者や政治や産業の代表者も必要となるはずです。その中では科学者の証言は、多くの証言の中の一つに過ぎないことになります。

(村上陽一郎『人間にとって科学とは何か』による)

問一、波線部 a のカタカナを、漢字に改めよ。

問二、空欄 (A) (D) に入る最も適切な文を次の中から選び、記号で記せ。

- | | | | | | | | |
|---|----------|---|----------|---|---------|---|-----------|
| ア | 黒白をつけること | イ | 不思議だった | ウ | 驚いたこと | エ | 成り立つこと |
| オ | 食い違うこと | カ | 引き出されること | キ | あいまいなこと | ク | 決めつけられること |

問三、傍線部 1 「科学者にとって法廷の場というのは、フラストレーションのたまる場所」になるのはなぜか、本文の内容に即して、記せ。

問四、傍線部 2 「実際の法廷での争点はそういうことではなく」について。

- ① 「実際の法廷での争点」とは何か、記せ。
- ② 「そういうこと」とは何か、記せ。

問五、空欄 X に入る最も適切な語を次の中から選び、記号で記せ。

- | | | | | | | | | | |
|---|--------|---|---------|---|---------|---|---------|---|--------|
| ア | 論理的合理性 | イ | 経済的合理性 | ウ | 超科学的合理性 | エ | 非科学的合理性 | オ | 社会的合理性 |
| カ | 法的合理性 | キ | 生態系的合理性 | ク | 普遍的合理性 | | | | |

二、次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

美山龍之介は、哲郎の家族であり、唯一^aの同居人でもある。

息子ではない。哲郎の妹、美山奈々の子であり、哲郎にとっては甥にあたる。

さして広くもないアパートで、伯父と甥という奇妙な組み合わせの二人暮らしが開始されるまでには、無論それなりの波乱と混乱と決断とがあった。

美山奈々は、哲郎のひとつ年下の妹だが、若くして病を得、しばしの闘病のち三年前の冬に他界した。奈々がシングルマザーであったから、龍之介は小学生の身で両親不在という境遇^bに陥ったのである。

（中略）

「学校はうまくいっているのか、龍之介」

「大丈夫です。電車通学も慣れてきました。同じ阪急で通う友だちも何人かいます。夏休みの夏期講習も一緒に行こうかって相談しています」

エプロンをしてフライパンで野菜をいためる姿が板についてきた少年は、中学の成績も上々であるらしい。妹の奈々によく似て色白で、目元は明るい。これは学校で相当モテるのではないかと、哲郎は脈絡^cもなく心配になってくる。

「（A）龍之介、お前の中学校は、中高一貫なんだ。夏期講習もいいが、せっかく高校受験がないんだから、勉強ばかりでなく、しっかり遊ばないとだめだぞ」

「そんなにのんびりしていたら、医学部¹に入れなくなります」

さらっとフライパンを返す音と共に聞こえた単語に、哲郎は思わず声を詰まらせた。

一度白いものの交じった髪を軽く掻きまわしてから、少年の背中に目を向けた。

「お前、医者を目指しているのかい？」

「そのつもりです。駄目ですか？」

「だめとは言わないが……、しかしなんでまた……」

「花垣先生にも言われたんです。マチ先生は大学に残っていれば、自分なんて飛び越えて教授になったかもしれない دکتر²なんだって。その先生に預かってもらってるんですから、恩返ししないといけません」

「あのエセ教授め……」

哲郎は、思わず毒づいた。

花垣は悪意のある人物ではないのだが、どうも無責任のきらいがないでもない。龍之介のために哲郎が退局したことは事実だが、それと少年の人生とは別の問題である。少なくとも哲郎はそう思っている。

野菜炒めと唐揚げを盛りつけた皿を持って来た龍之介を捕まえて、哲郎は告げた。

「いいかい、龍之介。私は確かにお前を預かるために、大学病院をやめた。おかげで色々と人生設計が変わったことは確かだが、

（B）私にとってそれが不利益になったかどうかは別の問題だ」

「別でしょうか」

「別だとも」

阿闍梨餅の欠片を飲み込んで哲郎は続ける。

「私は今の病院に移ったおかげで、ずいぶんと新しい経験をしているんだよ。別に後悔もない」

「でもマチ先生は、あのまま大学で研究を続けていたら、もっと出世して偉くなっていたんでしょう？」

「確かに、肩書^dきは立派になったかもしれないがね」

哲郎は、額に人差し指を当て、一拍置いてから語を次いだ。

「しかしその場合、お前の人生はどうなるだろうかと、私は考えたんだ」

「僕ですか？」

急な問いに龍之介は言葉に詰まる。

「誤解をしてはいけないよ、龍之介。私はお前に恩を着せようとして話しているんじゃない。私はその時純粋に、独りになったお前を放置して、自分が愉快な人生を歩めるものだろうかと自問したんだ」

「それは……」

「答えは難しいものじゃなかった。お前が辛い目にあっているのに、素知らぬ顔で幸せな人生を送るといふ世界は、私の中には成立しない。お前が笑顔で生活していけることは、私にとってとても大切なことなんだ。そういう私²なりの哲学にしたがつて、お前を引き受けたわけだ」

哲郎は、少し語調をゆるめて目の前の甥を見返した。

「地位も名誉も金銭も、それが単独で人間を幸福にしてくれるわけじゃない。人間はね、一人で幸福になれる生き物ではないんだよ」

哲郎が言葉を切ったあとも、龍之介は変わらず真剣なまなざしを伯父に向けている。

哲郎はやわらかく微笑した。

「まあつまり、私が少しばかり予定と違う人生に移ったからといって、お前が穴埋めのように医師を目指す道理なんてないわけだ」

「はい、わかるつもりです……」

「無理に全部をわからなくてもいいさ」

くしゃくしゃとまた髪を掻き回してから、食卓のご馳走に視線を巡らせた。

「こういう難しい話は空腹でやるもんじゃない。（C）せっかくの夕飯を、温かいうちにいただこうか」

はい、と答えた龍之介が箸をとって「いただきます」と告げた。

孤独だった少年が、物怖じしないまっすぐな感性を持つて育っていることを、哲郎は嬉しく思っている。時々伯父が口にする細かな理屈にも、真摯^eに耳を傾ける様子は、自分の甥としては出来すぎだと感じるくらいである。その一方で、二年と七か月も一緒に住んでいる同居の家族に「マチ先生」と呼びかけるのは、自然なことなのか悩みたくもなる。

勢いよく夕飯を頬張る少年から、哲郎は窓際に立てかけた小さな写真立てに目を向けた。

そこには少年と面差し^fの似た色白の女性が笑う姿がある。女性の隣には、研修医になったばかりのころの哲郎が白衣姿で立っている。楽しそうにピースをする妹に対して兄の方はすっかり困惑顔だ。妹がお祝いだといって、わざわざ哲郎に白衣を着せて撮った写真なのである。

——お前は³ずいぶんな課題を私に押し付けていったものだな……。

そんな愚痴にも似た一言を、哲郎は胸のうちに押しこめて、箸を手を取った。

（夏川草介『スピノザの診察室』より）

問一、波線部 a ～ f の読みを、ひらがなで記せ。

問二、空欄（A）～（C）に入る最も適切な語句を次の中から選び、記号で記せ。

ア だからといって イ また ウ たとえば エ しかし オ やはり カ まずは

問三、傍線部 1 「医学部に入れなくなります」とあるが、龍之介はなぜ医学部を志望するのか、本文の内容に即して、記せ。

問四、傍線部 2 「哲学にしたがって」とあるが、具体的にはどのような考えか、本文の内容に即して、記せ。

問五、傍線部 3 「ずいぶんな課題」とあるが、哲郎はどのようなことに難しさを感じているのか、本文の内容に即して、記せ。

二〇二六年度 倉敷芸術科学大学 一般選抜

中期

〔国語〕

一、

問一	問二	問三	問四		問五
a	A		②	①	
b	B				
	C				
c	D				
d					
e					

二、

問一	問二	問三	問四	問五
a	A			
	B			
b	C			
c	f			

得点欄	受験番号										受験地
※											

※は記入しないこと

2026年度 倉敷芸術科学大学 一般選抜

中 期
(化 学)

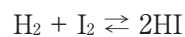
[答えは解答欄に記せ。必要があれば、次の原子量を使用せよ。水素：1、炭素：12、窒素：14、酸素：16、ナトリウム：23。]

1. 次の文章を読み、後の(1)～(5)の設問に答えよ。

①塩化ナトリウムの飽和水溶液に〔ア〕を十分に溶かした後、二酸化炭素を吹き込むと、水に比較的溶けにくい〔イ〕が析出し、溶液中には〔ウ〕が多量に生成する。②〔イ〕を取り出して高温で焼くと〔エ〕が得られる。

- (1) 空欄〔ア〕～〔エ〕に入る最も適切な化学式を記せ。
- (2) 下線部①と②の反応を、それぞれ化学反応式で記せ。
- (3) 下線部①と②の反応を、1つの化学反応式にまとめて記せ。
- (4) 〔エ〕を生成する工業的製法を何というか、正しく記せ。
- (5) 〔エ〕を10.6 kg 得るために必要な〔ア〕は標準状態で何 L かを求めよ。

2. 6.0 L の反応容器に水素 1.6 mol、ヨウ素 1.0 mol を入れ、一定温度に保ったところ、ヨウ化水素が 1.6 mol 生じて、以下の反応が平衡に達した。後の(1)～(3)の設問に答えよ。



- (1) この反応における平衡定数〔K〕を求めよ。
- (2) 同様の条件下において、水素 2.0 mol、ヨウ素 2.0 mol を反応させたとき、ヨウ化水素は何 mol 生成されるかを求めよ。解答は小数第1位までとする。
- (3) 設問の反応を以下の①～④のように条件変更したときに生じる状態の説明について、記述が正しいものには○を、誤っているものには×を記せ。
 - ① H_2 を加えると、右方向へ平衡が移動する。
 - ② I_2 の濃度を2倍に増加すると、平衡定数〔K〕も2倍に増加する。
 - ③ 反応容器内の圧力を増加させても平衡は移動しない。
 - ④ 触媒を加えると、平衡に達するまでの時間が短縮される。

3. 次の(1)～(5)のエチレンに関する反応を化学反応式で記せ。

- (1) エチレンが白金触媒の存在下で、水素と混合すると付加反応が起こった。
- (2) エチレンに水を反応させると、アルコールが生じた。
- (3) エチレンと塩素を混合したところ、付加反応が起こった。
- (4) (3)で生じた化合物を熱分解させると、ビニル基を持つ化合物が得られた。
- (5) (4)で生じた化合物を付加重合させると、ポリマーが生じた。

2026年度 倉敷芸術科学大学 一般選抜

中 期
(化 学)

1.

	[ア]	[イ]	[ウ]	[エ]
(1)				

	①	②
(2)		
(3)		
(4)		(5) L

2.

(1)		(2) mol		
	①	②	③	④
(3)				

3.

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

受 験 地	受 験 番 号							得 点 欄
								※

※は記入しないこと

2026年度 倉敷芸術科学大学 一般選抜

中 期
(生 物)

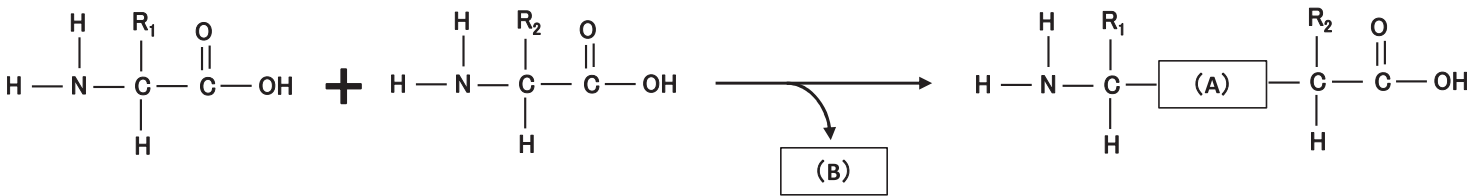
I. 細胞を構成する物質について後の設問に答えよ。

表1は動物細胞を構成している物質のおおよその構成比率、構成元素、主な役割を示す。

表1 細胞を構成する物質

物質	構成比率	構成元素	主な役割
(①)	70%	H, O	溶媒として様々な物質をとくす。細胞内の急激な温度変化を緩和する。 物質の運搬や化学反応の場となる。
タンパク質	18%	C, H, O, N, S	アミノ酸が多数結合した高分子化合物で、主に以下の役割がある。 (③) : 各種生体反応を触媒する。 抗体 : (④) ホルモン : 内分泌腺で作られ、標的器官で作用する情報伝達物質。
脂質	5%	C, H, O, (P)	脂肪 : エネルギー源となる。 リン脂質 : (⑤)
炭水化物	2%	C, H, O	単糖類・二糖類 : エネルギー源となる。 多糖類 : エネルギー源となる。植物や微生物の細胞壁となる。
(②)	1%	C, H, O, N, P	DNA : (⑥) RNA : 転写や翻訳に関わる
無機塩類	1%	Na, K, Cl, Mgなど	多くは水にとけてイオンとなり、浸透圧やpHの調節をするほか、筋収縮 や神経伝達、(③)の反応を助ける役割がある。
その他	1%	—	—

- (1) 表1中の(① ~ ③)に語句を、(④ ~ ⑥)に主な役割の説明文を記せ。
- (2) タンパク質はアミノ酸が多数結合したものである。アミノ酸同士の結合について、(A)、(B)を補う化学式を記せ。



- (3) 多糖類のうち、エネルギー源となるもの、および細胞壁の成分となるものを1つずつ記せ。

II. 真核細胞でのタンパク質合成と分解について後の設問に答えよ。

核内で合成されたmRNAは核外に移動し、細胞質にある(ア)でタンパク質が合成される。小胞体には(ア)が付着した(イ)小胞体と付着していない(ウ)小胞体があり、細胞外へ分泌されるタンパク質は(イ)小胞体で合成され、そこから袋状の膜構造が層状に重なった(エ)に移動し修飾を受ける。分泌タンパク質は(エ)から分離した分泌小胞が細胞膜に移動・融合して細胞外に分泌される。

一方、細胞内のタンパク質や細胞小器官を分解する主な機序は2つある。A 1つは分解するものを(オ)に取り込み分解する機序である。特に細胞内小器官などを膜構造で取り囲み(オ)と融合させて分解することは(カ)と呼ばれる。もう1つはB細胞内基質(サイトゾル)に存在する酵素によって分解する機序である。

- (1) 空欄(ア～カ)を補う適切な語句を記せ。
- (2) 次の①②の分解は下線部A、Bのどちらの分解機序によるかを考えて記号を記せ。
- ①飢餓状態では、細胞自身を分解して栄養とする。
- ②細胞周期に応じて特定のタンパク質だけを分解する。

(裏面につづく)

Ⅲ. 図1はヒトの脳を示す。図中①～④にあたるのは何か。また、（ア～エ）はそれぞれの役割か。該当するものを大脳、間脳、小脳、延髄から選んで記せ。

- （ア）身体の随意運動と平衡を調節する。
 （イ）呼吸、血液循環などを維持・調節する。
 （ウ）感覚情報を大脳へと中継し、内分泌系を調節する。
 （エ）感覚情報の処理、随意運動の指揮、言語、情動に関わる。

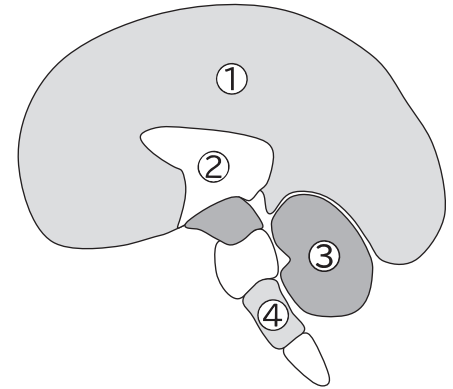


図1

Ⅳ. 図2は血糖値を調節する仕組みを示したものである。図中の実線は作用するホルモンを示し、破線は神経を示す。後の設問に答えよ。

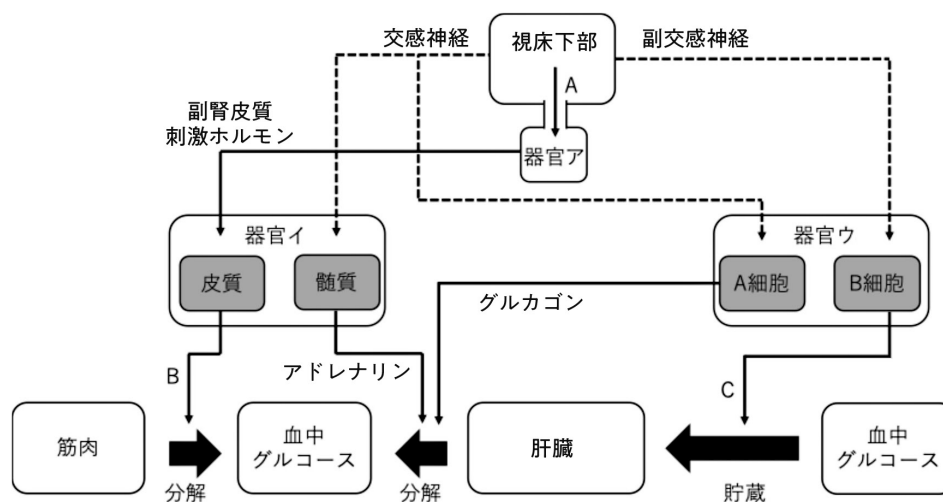


図2

（1）血糖値の調節に関わる器官ア～ウに該当するものをそれぞれ選択肢より選んで記せ。

選択肢【大脳、脳下垂体前葉、腎臓、副腎、心臓、すい臓（ランゲルハンス島）、ひ臓、脊髄】

（2）グルコースは、肝臓でなんという物質として貯蔵されるかを記せ。

（3）ホルモンA～Cに該当するものをそれぞれ選択肢より選んで記せ。

選択肢【糖質コルチコイド、チロキシン、インスリン、放出ホルモン】

（4）糖尿病にはⅠ型とⅡ型があるが、Ⅰ型はどのようなメカニズムで症状が現れるかを記せ。

（5）図3は、健康な人、Ⅰ型糖尿病患者、Ⅱ型糖尿病患者の血中グルコース、ホルモンCの血中濃度を示す。図中のX、Y、Zは、それぞれ健康な人、Ⅰ型糖尿病患者、Ⅱ型糖尿病患者のいずれかを表している。該当するものをX、Y、Zより選んで記せ。また、そう考えた理由も記せ。

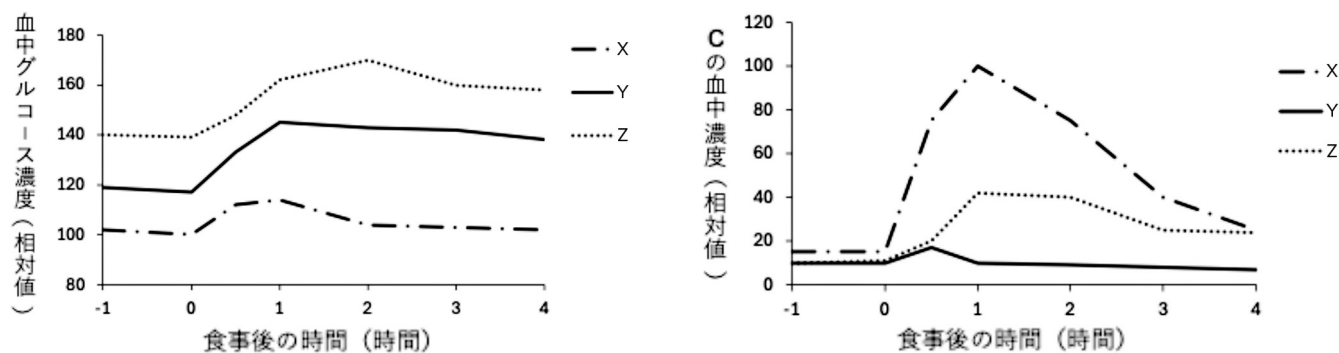


図3

2026年度 倉敷芸術科学大学 一般選抜

中 期
〔 生 物 〕

I.

(1)	①	②	③
	④		
	⑤		
	⑥		
(2)	(A)		(B)
(3)	エネルギー源		細胞壁成分

II.

(1)	ア	イ	ウ
	エ	オ	カ
(2)	①	②	

III.

①	②	③	④
(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)

IV.

(1)	ア	イ	ウ
(2)			
(3)	A	B	C
(4)			
(5)	健康な人	理由	
	I型糖尿病患者	理由	
	II型糖尿病患者	理由	

受 験 地	受 験 番 号								得 点 欄
									※

※は記入しないこと